

福岡県同行援護従事者養成研修カリキュラム

1. 一般課程 (全20時間)

※講師要件は優先順位の高い順に記載

科目名	時間数	目的	内容	講師要件
1) 視覚障がい者(児)福祉サービス	12	視覚障がい者(児)の福祉の制度とサービスの種類、内容、役割を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉の背景と動向</li> <li>・障がい者福祉の制度とサービス</li> <li>・視覚障がいの概念と定義</li> <li>・視覚障がいの現状</li> <li>・視覚障がい者の移動支援制度の変遷</li> <li>・移動支援と同行援護</li> <li>・移動に関する制度</li> </ul>	障がい者行政担当者 視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者(※1) 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 同行援護従事者養成研修応用課程修了者 同行援護従事者養成研修一般課程修了者 社会福祉士 相談支援専門員
2) 同行援護の制度と従業者の業務	2	同行援護の制度と従業者の業務を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護概論</li> <li>・同行援護従業者の職業倫理</li> <li>・同行援護の制度</li> <li>・同行援護制度の利用</li> <li>・同行援護従業者の業務</li> <li>・リスクマネジメント(緊急時対応)</li> <li>・実務上の留意点</li> </ul>	視覚障害者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者 同行援護従事者養成研修応用課程修了者 同行援護従事者養成研修一般課程修了者 視覚障がい者ガイドヘルパー 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 相談支援専門員
3) 障がい・疾病の理解①	2	業務において直面する頻度の高い障がい・疾病を医学的、実践的視点で理解するとともに、援助の基本的な方向性を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者についての理解</li> <li>・視覚障がいの実態とニーズ</li> <li>・「見え」の構造</li> <li>・視覚障がいの原因疾病と症状</li> <li>・同行援護の留意点</li> </ul>	視能訓練士 視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 眼科医、看護師、保健師

改正前

福岡県同行援護従事者養成研修カリキュラム

【別紙1】

1. 一般課程 (全28時間)

※講師要件は優先順位の高い順に記載

区分	科目名	時間数	単位数	出席率	目的	実施内容	講師要件
講義	1) 外出保障	1		1	視覚障がい者(児)の外出について考えとともに、生活を支える視点や視覚障がい者(児)の外出保障を担うことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出保障とは</li> <li>・外出保障の歴史</li> <li>・外出保障の現状</li> </ul>	視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者(※1) 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 同行援護従事者養成研修応用課程修了者 同行援護従事者養成研修一般課程修了者 社会福祉士 相談支援専門員
講義	2) 視覚障がいの理解と疾病①	1		1	視覚障がい者(児)の様々な見え方、見えにくさによる不便さ、および業務において直面する頻度の高い疾病についての留意点を学び、具体的な支援について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がいの理解(視覚障がいによる不便さ、必要な情報)</li> </ul>	視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者(※1) 同行援護従事者養成研修応用課程修了者 同行援護従事者養成研修一般課程修了者 視覚障がい者ガイドヘルパー 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 相談支援専門員
講義	3) 視覚障がいの理解と疾病②	0.5	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がいと疾病の理解(様々な見えかた・見えにくさ、主な眼疾患の特徴とその見えにくさについての支援のポイント)</li> </ul>	視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者(※1) 同行援護従事者養成研修応用課程修了者 同行援護従事者養成研修一般課程修了者 視覚障がい者ガイドヘルパー 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 相談支援専門員

改正後

福岡県同行援護従事者養成研修事業実施要綱 新旧対照表

改正前

科目名	時間数	目的	内容	講師要件
4) 障がい者(児)の心理①	1	視覚障がい者(児)の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先天性視覚障がい者の心理</li> <li>・中途視覚障がい者の心理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者</li> <li>視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員</li> <li>心理判定員、臨床心理士</li> <li>看護師、保健師</li> </ul>
5) 情報支援と情報提供	2	移動中に必要な情報支援、情報提供の基礎を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉による情報提供の基礎</li> <li>・移動中の口頭による情報支援</li> <li>・状況や場面別での情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者</li> <li>同行援護従業者養成研修応用課程修了者</li> <li>同行援護従業者養成研修一般課程修了者</li> <li>視覚障がい者ガイドヘルパー</li> </ul>
6) 代筆・代読の基礎知識	2	情報支援としての代筆・代読の方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代筆、代読</li> <li>・点字、音訳の基礎</li> <li>・情報支援機器の種類</li> <li>・自ら署名、押印する方法など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員</li> <li>相談支援専門員</li> </ul>
7) 同行援護の基礎知識	2	同行援護の目的と機能を理解し、基本原則を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者への接し方</li> <li>・同行援護中の留意点</li> <li>・歩行に関係する補装具・用具の知識</li> <li>・日常生活動作に関係する用具の知識</li> <li>・環境と移動に伴う機器</li> </ul>	

改正後

区分	科目名	時間数	必修	免除選択	目的	実施内容	講師要件
講義	4) 視覚障がい者(児)の心理	1		1	視覚障がい者(児)の心理に対する理解を深め、心理的援助の在り方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全盲の心理</li> <li>・ロービジョンの心理</li> <li>・視機能低下の心理</li> <li>・障がい発生時期の心理</li> <li>・外出時の心理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者(※1)</li> <li>視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員</li> <li>心理判定員、臨床心理士</li> <li>看護師、保健師</li> </ul>
講義	5) 視覚障がい者(児)福祉の制度とサービス	1.5	○	0	障がい者(児)福祉の制度とサービスの変遷を踏まえ、関係法や制度を理解する。同行援護従事者が外出時に活用可能な制度、および視覚障がい者(児)が利用する関係施設を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉の動向</li> <li>・障がい者福祉に関連する法律</li> <li>・障がい者総合支援法</li> <li>・視覚障がいに関する施設等</li> <li>・障がい者を対象としたその他の制度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者(※1)</li> <li>同行援護従業者養成研修応用課程修了者</li> <li>同行援護従業者養成研修一般課程修了者</li> </ul>
講義	6) 同行援護の制度	1		1	同行援護の成り立ちや制度の仕組み、同行援護以外の外出制度について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護以前の外出支援制度の歴史</li> <li>・同行援護制度の概要</li> <li>・他の外出支援制度との関係</li> <li>・同行援護制度の課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者ガイドヘルパー</li> <li>視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員</li> <li>相談支援専門員</li> </ul>
講義	7) 同行援護従業者の実態と職業倫理	2.5	○	0	従業者の役割、派遣の流れ、具体的な業務内容と職業倫理を理解する。利用者の様々な状態に合わせた支援方法や外出に必要な知識を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護従業者の業務内容</li> <li>・同行援護従業者の職業倫理</li> <li>・同行援護の実態(様々な利用者への対応等)</li> </ul>	
講義・演習	8) 情報提供	2		2	情報提供の方法や内容を理解し、実際の場面別の情報提供方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供とは</li> <li>・情報提供の内容</li> <li>・場面別情報提供の実態</li> <li>・情報提供時の配慮</li> <li>・演習(3回程度)</li> </ul>	

科目名	時間数	目的	内容	講師要件
2 演習	8			
1) 基本技能	4	基本的な移動支援の技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつから基本姿勢まで</li> <li>・基本姿勢と留意点</li> <li>・してはいけないこと</li> <li>・歩行、曲がる</li> <li>・狭い場所の通過</li> <li>・ドアの通過</li> <li>・いすへの誘導</li> <li>・段差、階段</li> <li>・交通機関の利用の基本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者</li> <li>同行援護従業者養成研修応用課程修了者</li> <li>同行援護従業者養成研修一般課程修了者</li> <li>視覚障がい者ガイドヘルパー</li> <li>視覚障がい者（児）等施設長・生活支援員・指導員</li> </ul>
2) 応用技能	4	応用的な移動支援の技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に応じた歩行</li> <li>・さまざまな階段</li> <li>・さまざまなドア</li> <li>・エレベーター</li> <li>・エスカレーター</li> <li>・車の乗降</li> <li>・食事</li> <li>・トイレ</li> <li>・車いす利用の視覚障がい者への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者</li> <li>同行援護従業者養成研修応用課程修了者</li> <li>同行援護従業者養成研修一般課程修了者</li> <li>視覚障がい者ガイドヘルパー</li> <li>視覚障がい者（児）等施設長・生活支援員・指導員</li> </ul>
合 計	20			

※ 1…社会福祉法人日本ライトハウスが実施した、視覚障害者の生活訓練を専門とする技術者の養成を行う研修の修了者は、国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者と同等とする。

区分	科目名	時間数	単位数	必修/選択	目的	実施内容	講師要件
講義・演習	9) 代筆・代読①	1		1	代筆・代読の内容を理解し、実際の場面別の代筆・代読の方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代筆（業務における代読、代読の範囲・基本的な方法、留意点）</li> <li>・代筆（業務における代筆、代筆の範囲・基本的な方法、留意点・代筆できないもの）</li> <li>・演習（代読1題・代筆1題）</li> </ul>	
講義・演習	1.0) 代筆・代読②	0.5	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・代読・代筆の具体的な方法</li> </ul>	
演習	1.1) 誘導の基本技術①	3	0	0	誘導に必要な情報提供と基本技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本姿勢・歩く（誘導の考え方、あいさつ、基本姿勢、やってはいけないこと、歩く、止まる、曲がる、方向転換）</li> <li>・狭いところの通過、ドアの通過</li> </ul>	
演習	1.2) 誘導の基本技術②	4		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子への誘導・階段（スロープ、溝などをまたぐ、段差）</li> </ul>	
演習	1.3) 誘導の応用技術（場面別・街歩き）①	4		4	様々な場面での具体的な誘導方法を習得する。実際の街歩きにより、誘導時の留意点や具体的な誘導技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通（トイレ、食事）</li> <li>・街歩き（歩道、車道の区別のない道路、天候、踏切、グレーチング、混雑地、様々なドア、様々な階段）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者</li> <li>国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者（※1）</li> <li>同行援護従業者養成研修応用課程修了者</li> <li>同行援護従業者養成研修一般課程修了者</li> </ul>
演習	1.4) 誘導の応用技術（場面別・街歩き）②	1	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面別（病院・薬局、買い物、行政窓口・金融機関、会議・研修、余暇活動、冠婚葬祭）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者ガイドヘルパー</li> <li>視覚障がい者（児）等施設長・生活支援員・指導員</li> <li>相談支援専門員</li> </ul>
演習	1.5) 交通機関の利用	4		4	交通機関の乗降練習等を通して、移動支援技術を習得するとともに、乗車中の留意点を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電車の乗降</li> <li>・バスの乗降</li> <li>・車の乗降</li> <li>・船・飛行機の乗降</li> </ul>	
合 計		28		19			

※ 1…社会福祉法人日本ライトハウスが実施した、視覚障がい者の生活訓練を専門とする技術者の養成を行う研修の修了者は、国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者と同等とする。

2. 応用課程 (全12時間)				
科目名	時間数	目的	内容	講師要件
<b>1 講義</b>				
1) 障がい・疾病の理解②	1	業務において直面する障がい・疾病を医学的、実践的視点でより深く理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見える」ということ</li> <li>・「見えること」と「行動」</li> <li>・弱視の見え方・見えにくさ</li> <li>・盲重複障がいについて</li> </ul>	視能訓練士 視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 眼科医、看護師、保健師
2) 障がい者(児)の心理②	1	視覚障がい者(児)の心理に対する理解を深め、適切な対応ができるよう習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの受容</li> <li>・家族の心理</li> <li>・視覚障がい者の人間関係</li> </ul>	視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者 臨床心理士、心理判定員 看護師、保健師
<b>2 演習</b>				
1) 場面別基本技能	3	日常的な外出先での技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口やカウンター</li> <li>・買い物</li> <li>・雨、雪の日</li> <li>・金銭・カード</li> </ul>	視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障害学科の教科を履修した者 同行援護従業者養成研修応用課程修了者 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員
2) 場面別応用技能	3	目的に応じた外出先での技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院、薬局</li> <li>・式典、会議、研修など</li> <li>・冠婚葬祭</li> <li>・盲導犬ユーザーへの対応</li> </ul>	
3) 交通機関の利用	4	交通機関での移動支援技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅の改札</li> <li>・ホームへの移動</li> <li>・電車・バスの乗降</li> <li>・実際の公共交通機関等を利用すること</li> </ul>	
合計	12			

改正前

2. 応用課程 (全6時間)					
区分	科目名	時間数	目的	内容	講師要件
講義	1) サービス提供責任者の業務	1	事業所やサービス提供責任者の役割を学び、利用者のニーズに基づいた質の高い派遣がサービス提供責任者の下で行えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の体制</li> <li>・事業所の役割</li> <li>・サービス提供責任者の役割</li> <li>・サービス提供責任者の業務</li> </ul>	視能訓練士 視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者(※1) 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 眼科医、看護師、保健師
講義	2) 様々な利用者への対応	1	利用者の多様化について理解し、重複障がい等の特性を踏まえた外出に必要な知識を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、障がいの重度化・重複化の現状</li> <li>・高齢の視覚障がい者、重複障がい者への支援の留意点</li> </ul>	視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者(※1) 臨床心理士、心理判定員 看護師、保健師
講義	3) 個別支援計画と他機関との連携	1	サービス等利用計画に基づき、サービス提供責任者が事業所等で策定する個別支援計画や関係機関との連携等について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の策定</li> <li>・関係機関との連携</li> </ul>	視覚障がい者移動支援従事者資質向上研修修了者 国立障害者リハビリテーションセンター学院視覚障がい学科の教科を履修した者(※1) 同行援護従業者養成研修応用課程修了者 視覚障がい者(児)等施設長・生活支援員・指導員
講義	4) 業務上のリスクマネジメント	1	事業所としてリスクマネジメントを図るため、同行援護従事者の派遣に当たり発生可能性がある事故や発生時の管理体制等について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所のリスクマネジメント</li> <li>・同行援護従業者のリスクマネジメント</li> <li>・事故発生時の管理体制</li> </ul>	
講義	5) 従業者研修の実施	1	事業所内の同行援護従事者に対する研修の目的や内容等について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業者研修の目的</li> <li>・従業者研修の内容</li> <li>・従業者の質の向上のための工夫</li> </ul>	
講義	6) 同行援護の実務上の留意点	1	同行援護制度の実務上の留意点や他の福祉制度との関係について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護の制度上の留意点</li> <li>・同行援護の実務上の留意点</li> <li>・介護保険制度との関係</li> </ul>	
合計		6			

改正後